

TOPIC.
NPO 防災活動支援機構

HONOHONO

ホノホノとはハワイの言葉で「ぶらぶら」や「散歩」という意味です。



これからの時期は雨や台風などの災害が増えてきますね。
そのために、日頃の備えや心構えなどが重要になってきます。
「防災」という意識をもっと日常のホッと一息つく時間など
に伝えていきたいという想いから、あまり耳にしたことがな
い『防災カフェ Saivos (※)』をオープンされたNPO 防災活
動支援機構の渡邊さんに取材をさせていただきました。

※「Saivos」とは災害の声、災害ヴォイスという意味で、その声から
何を学んでいくのかを考える。



店舗所在地 ▶▶▶

〒840-2106
佐賀県佐賀市諸富町大字山領 263-10



※「NPO 防災活動支援機構」
ホームページ





プラザからのお知らせ



日時

2019年7月18日(木)
18:30～19:30

会場

佐賀市市民活動プラザ フロア
(佐賀市白山二丁目1-12 佐賀商工ビル 7F)

参加費

無料(事前申込不要)

内容

テーマ「子どもを取り巻く環境 ～子どもの居場所から～」
さが・こども未来応援プロジェクト実行委員会の活動紹介
子どもを取り巻く環境などの事例について



うちかわ みさこ
内川 実佐子 氏



さが・こども未来応援プロジェクト実行委員会

予告

8月 いどばたかいぎ

もとほり まりこ
循環の遊び場ゆうゆう(本堀 万里子 氏)

子どもたちの現状と居場所の運営やその取り組むべき課題について

日時 2019年8月22日(木)
18:30～19:30

会場 佐賀市市民活動プラザ フロア
(佐賀市白山二丁目1-12 佐賀商工ビル 7F)

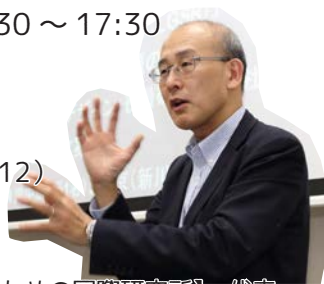
佐賀県 CSO 経営力向上推進事業<中部地区/第2回>

人と組織の育て方とは?～団体運営の基礎を学ぶ～

日時 2019年
8月10日(土) 13:30～17:30

場所 佐賀商工ビル 7F
共用大会議室 A
(佐賀市白山二丁目1-12)

講師 かわきた ひでと
川北 秀人 氏
IIHOE【人と組織と地球のための国際研究所】代表
一般財団法人日本民間公益活動連携機構 評議員



プログラム(13:30～17:30)

人事の基本5業務(45分)
2枚の組織図(45分)
半人前・一人前の定義(90分)

終了後オプションプログラム(17:30～18:30)
「仮想理事会(Virtual Board Meeting)」

主催 佐賀県

運営 (特非) 佐賀県 CSO 推進機構

申込先 TEL: 080-4282-8061

E-mail: akiyama@min-nano.org



申込みフォーム

プラザ施設利用のご案内

レターケース



<更新団体>

まだ更新手続きがお済みでない団体は、更新手続きをお願い致します。

(※注 1年間更新手続きがない場合は、郵便物・メール便等は受付不可となります)

<新規登録>

随時受け付けております。
(毎年4月に更新あり)

ロッカー

ロッカーはまだ若干空きがありますので、必要な市民活動団体(要利用団体登録)はご利用ください。



※詳しくは窓口にてお問い合わせください。

市民活動情報広場

サウンド オブ ハーモニカ コンサート

日時
2019年7月7日(日)
開場 12:30 / 開演 13:00

会場
エスプラッツホール
(佐賀市白山2丁目17-1 エス
プラッツ3階)

入場料
無料
※「永池本店駐車場」をご利用
の方にサービス券をお渡しし
たします。

お問い合わせ先
佐賀新聞文化センター エスプ
ラッツ教室
TEL 0952-25-2160

「活動を見通す予算と決算」 ～経理(=経営管理)を改めて考える～

日時
2019年7月20日(土)
10:00～12:30

場所
佐賀商工ビル7F
共用大会議室A
(佐賀市白山2-1-12)

対象
市民活動団体や学生団体、市民
活動やまちづくりに関心がある
方(会計・経理の担当の方等)
※参加費は無料

お問い合わせ先
佐賀市市民活動プラザ(秋山)
TEL 0952-40-2002

夏休み!!子どもお笑い教室

日時
2019年7月24日(水)
13:00～18:00

会場
佐賀市青少年センター
(佐賀市松原2丁目2-27 佐賀
バルーンミュージアム3階)

料金
無料

対象
小学生(30名限定)

お問い合わせ先
さが昔話の会
TEL 080-3961-5350

パソコンICTボランティア 養成講座受講者募集!

日時
2019年7月30日(火)
7月31日(水)
8月2日(金)
各回 10:00～15:00

会場
伊万里市民図書館
(伊万里市立花町4110番地1)

ボランティア内容
・障害の理解
・PCでの支援

お問い合わせ先
佐賀県障害者ICTサポートセ
ンターゆめくれよん+(プラス)
TEL 0952-36-6977

公益信託 大成建設自然・ 歴史環境基金 2019年度助成金

対象事業
助成金振込日より1年以内に実施
される、国内ならびに開発途上国
の自然・歴史環境の保全・活用に
係る活動や研究

助成内容
助成総額 1500万円程度
助成件数 30件程度
1件あたりの上限なし

応募締切
2019年7月31日(水) 必着

お問い合わせ先
みずほ信託銀行株式会社 リテール・事業法人業務部 福祉信託係
TEL 03-3274-9210

日野自動車グリーンファンド 2019年度助成事業

対象事業
日本国内において実施される、自然
環境保全に資する次のような非
営利の事業
・樹木・草花の植栽等
・調査研究
・教育・諸啓発

助成金額
総額 900万円程度
1件あたりの上限なし

応募締切
2019年7月31日(水)

お問い合わせ先
(公財)日野自動車グリーンファ
ンド事務局
TEL 042-586-5369

ユニバーサル財団 2019年度特定 活動助成「自然災害支援プログラム」

対象主体
県外に避難された方に「こころの
ケア」傾聴ボランティア」活動
をしている団体で、応募に際して
地元社会福祉協議会の推薦を得ら
れる事と、団体として既に一年以上
の活動実績がある団体

応募締切
2019年7月31日(水)17:00

助成金額
助成期間:最大3年
1件あたり上限50万円/1年

お問い合わせ先
公益財団法人ユニバーサル財団
TEL 03-3350-9002

アウトドア環境保護基金 2019年度前期

対象事業
自然が残された特定の土地や水域
にて実施される事業
※詳しい内容はHPをご確認下さい。

助成金額
1件あたり10万～50万円

応募締切
2019年8月15日(木) 必着

お問い合わせ先
コンサベーション・アライアンス
・ジャパン事務局 アウトドア環境
保護基金係
E-mail:(メールフォーム)
<http://ca-j.org/inquiry.html>

第29回イオン環境活動助成

対象活動
テーマ「人と自然が育むゆたかな
森づくり」
1. 植樹
2. 里地・里山・里海の保全、
河川の浄化
3. 自然環境教育
4. 野生生物・絶滅危惧生物の
保護

応募締切
2019年8月20日(火)23:59

お問い合わせ先
公益財団法人イオン環境財団
助成担当
TEL 043-212-6022

TOPIC.NPO 防災活動支援機構

防災をテーマにしたカフェオープンに至った経緯について教えて下さい

近年、災害で亡くなられた方が非常に多くて、佐賀から何ができるのか
なっていた時に、実は全国的に見て佐賀は防災意識が抜きん出るくら
い低いんです。そのような低い防災意識を日本で一番に変えていきたい
と思っています。逆に、オール九州・オールジャパンで考えて、災害が
起こる可能性が低い地域は佐賀の可能性もありますよね。発想の転換で、
佐賀で被害が起こらなかつたら、他の県に救助に行けたり、支援ができ
たりするのが佐賀じゃないのかと言えらると思います。そういう考え方を
少しでもカジュアルに伝えていこうとした時に、一番話せたりする場所
は「カフェ」なのかなって。

災害支援をする時にどんな点に注意したらいいですか？

現地が整理された上で、募集がかかってから行つのが
いいと思います。災害時は現場がすごく混乱します。
マスコミは基本的に被害が大きい所をまず取り上げま
すが、いきなりそこに物資などを送っても、支援機能
が未整備です。受付を作ったり、受け入れ先を見つけ
て送ったりという処理ができない状況で物資を送られ
ても、置き場所がなかったり、人手はあるけど、どこ
に行つたらいいのかわからないなど、現地でモノや人をまわしきれない
のです。その一方で、本当は一番欲しているところに物資が届かない
ということもあります。だから、そこを統括してまんべんなく人や物資
が行き届くようにする機能が現地にできてからの方がいいと思います。

支援活動するにあたって必要な資格はありますか？

資格は必要ありません。活動する気持ちがあれば、
建築士でもいいし、料理人でも、どなたでも大丈夫
で、全ての仕事は「防災」に役立つ「力」になると思
います。カフェのコーヒーでも災害時にホッと一息つ
ける事にもつながるし、コーヒーから防災意識を発信
していくということもできる。そういう感じで気軽に
考えてもらったほうが良いかなと思います。でも、僕
たちにはもっと伝えたいことがあります。

支援上の注意よりもっと伝えたいことって何ですか？

僕たちが本当に伝えたいのは、災害が起きてからでは
なくて、その前にどう「備える」かということです。



災害が起きて救助に行くことも重要だけど、「誰も死なせ
ない」という気持ちを持って先に備えるすることで救える
命があると思います。先に備えるために、楽しく取り組ん
でもらったり、みんなの気持ちの底上げができていけば、
災害があった時に被害が少なくて済むかもしれない。「備
える」という意識をもっていたくことが大事で、そのた
めに、子どもたちに向けた啓発活動をしていきたいし、企
業などの防災力アップのために支援できたらいいと思っ
ています。

**これから台風や豪雨などが増えてくると思いますが、それら
に「備える」とはどんなことですか？**

災害が起こる時は建物の中にいることが多いです。日
本の家って木造が多く、建築当時は建築基準に合格し耐震
力があつた家でも、年数を重ねると傷みが出て劣化します。
そこで必要なのは、日頃のメンテナンスです。ウルグアイ
のムヒカ元大統領が言っていたんですが、「貧しいのはモ
ノがなくて困ってる人じゃない。モノがあっても歯止め
の利かない人が貧しい人間だ」。それが今の日本かなと思
います。今、家を例に出しましたが、モノを大事にする
ということ、ひいては命を大事にすることに繋がると思
います。

これからの活動への想いは何ですか？

防災活動のコミュニティカフェなんて全国でもなかなか
ないです。カフェで今まで知り合えなかった人と出会い、交
流ができて、そこで情報を発信したり情報をもつたりし
ながら、社会から僕たちに今求め
られてることを叶えていきたい
なあって思っています。カフェで
防災の意識を、みんなでざくば
らんに考えていけたらいいな
って。「話すこと」によって「防
災」っていう考え方もあるんだ
って知ってもらいたいです。



佐賀市市民活動プラザ

開館時間 9時～22時 年末年始以外無休
会議室の利用や掲載内容に関する問い合わせは
佐賀市白山二丁目1-12 佐賀商エビル7F
TEL: 0952-40-2002 FAX: 0952-40-2011
ホームページ: <https://www.tsunasaga.jp/plaza/>
Facebook: <https://www.facebook.com/tsunasaga.plaza>



佐賀市市民活動プラザ

梅雨に入ったのですが、相変わらず雨は少ないで
すね……。今年の梅雨は動物たちには厳しくなりそ
うですね。洗濯物が乾かないから雨は嫌だなと思っ
ていたのですが、雨って本当に大事なんだと気づか
れています。 小柳